

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年2月8日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年2月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【増設多核種除去設備空気圧縮機1の起動不能について】 空気圧縮機1がシーケンサー(制御ユニット)不良により起動不能。 シーケンサーを交換予定。 空気圧縮機2は運転可能。空気圧縮機1台運転で、増設多核種除去設備は運転可能。	GⅢ
2	【1号機使用済燃料プール循環冷却設備一次系ポンプAの軸キー※溝の損傷について】 ポンプAの点検中、軸キー溝の損傷を確認。 修理方法検討中。 ポンプBの運転は可能であり、使用済燃料プール冷却に影響なし。 ※キー:軸と回転体を締結させる役割をもった金具のこと。	GⅢ
3	【既設多核種除去設備Bデカントポンプ1Bドレン弁操作ハンドル破損について】 弁操作のハンドルを破損。 デカントポンプ1Bの運転に支障なし。 ハンドルを交換予定。	GⅢ